

みんなの子育て掲示板

No.3

皆さんから寄せられた取り組みを紹介します！！

毎日あいさつ



- ・顔を見たら声をかけるようにしています。少しでも会話をする事で、その日の体調に気付くことができると思うからです。
- ・起きてきたらまずあいさつするようにしています。返ってきた返事で、なんとなく子どもの様子が分かります。
- ・毎朝必ず「おはよう」と声をかけます。返事の様子で、子どもの心身状態が分かります。
- ・自分から進んであいさつをすることを心がけています。
- ・親が家でも外でもあいさつを先にする姿を見せています。また、道を譲ってくれた時や何かをしていただいた時に必ずお礼や会釈（反応をすること）を、親が見せるようにしています。
- ・私から、「おはよう」や「おやすみ」「いってらっしゃい」など声をかけるようにしています。そうすることで、自然と子どももあいさつをするようになります。



伝えよう 感謝の気持ち

- ・特別な工夫はしていませんが、お互いに感謝の気持ちは伝えるようにしています。
- ・できるだけ「ありがとう」を家庭の中で言うようにしています。子どもたちも「ありがとう」を言うことが増えて、温かい雰囲気になります。
- ・「ありがとう」だけじゃなく、「やってくれたから助かった」と伝えていきます。
- ・頼んだことをしてくれたら、「ありがとう！完璧にできているね。」などと伝えていきます。すると、できていなかった時は、完璧になるように考えてくれます。
- ・具体的に「～ありがとう」と伝えるようにしています。感謝の気持ちを伝えると自分が嬉しくなる気持ちに気付いてほしいし、その気持ちになってもらいたいと思うからです。
- ・「ありがとう」と言われて悪い気がする人はいないと思うので、意識的に「ありがとう」や「助かったわ」というワードを出しています。また、相手に何かしてもらった際に、必ずお礼をするように伝えていて、相手の善意に気付くような教育を心がけています。



家族の仕事

- ・最近、家の手伝いをしてくれていないように感じます。何か手伝えるように勧めてみたいと思います。
- ・子どもたちに家事の担当を決めました。(風呂掃除や食器の片づけなど) それに対する対価として、お小遣いをあげていました。
- ・役割分担ではなく、最後にお風呂に入った時はお湯を抜くなど状況に応じて仕事をするようにしています。このことで、自分から考えて行動することにつながっています。
- ・親が忙しかったり体調不良だったりするときは、子どもから「手伝う」と声をかけてくれることもあるので、分担はしていません。
- ・「何かお手伝いをさせなければ」と思いながら、何もさせていません。
- ・何かをしなさいとは言わずに、できれば父親が家事をしている姿を見せるようにしています。女だから家事をしなさいとか、男だから家事をしなくてよいという昭和のスタイルを見直すようにしています。



みんなで読書

- ・子どもが低学年くらいまでは、寝る前に読み聞かせをしていました。大きくなってきたら、一緒に図書館で本を借りたり、リビングに興味をひきそうな本を置いたりして読書に親しめる環境づくりを心がけました。
- ・子どもが小さいときは、読み聞かせもしていましたが、中学生になってからは勉強優先になって読書の時間がなかなかとれないのが現状です。
- ・漫画、小説、ビジネス雑誌など多くのカテゴリーの本を置いて、親が本を読んでいる姿を見せています。子ども3人ともそれなりに本を読む習慣が身に付いています。
- ・読書は好きな方で、毎週図書館に通っていたのですが、最近読書が少なくなってきました。また勧めていきたいと思いました。

我が家のルール

- ・スマホは、高校入学まで持たせず、父がスマホ上で時間制限をかけていました。SNSや未成年にとってよくないものはアプリ制限をかけていました。
- ・母親がみんながしてくれると助かることなどを会話の中で話しています。「お母さん、〇〇しといたよ。ちょっとは休める？」などと気遣ってくれます。
- ・特にルールがないので、作ってみてもいいかなと思いました。
- ・たとえ芸能人でも、目上の人であるため、必ず「〇〇さん」呼びをするように言ってきました。
- ・お金を有効に使って、良いサービスや良いものを購入することで知らない世界と関わるようにしています。多様なものを見ることで、世界が広がるからです。人でも物でも事でもよいので、知らない世界を知ってもらうことで自分自身がより見える状態を作っています。